

令和7年度「交流及び共同学習」実施要項

1 目的

インクルーシブ教育の理念を踏まえ、生徒一人一人の実態に即した「交流及び共同学習」を実施し、生徒の自立に向けた教育の一層の充実を図る。

2 事業の内容

生徒一人一人の興味・関心や教育的ニーズに応じた「交流及び共同学習」の機会を提供する。

3 対象校

北海道中札内高等養護学校、北海道更別農業高等学校（互いに連携校と言う。）

4 事業の実施方法

- (1) 校内支援委員会は、連携校の受入可能な授業等の情報提供をもとに、「交流及び共同学習」の対象生徒を選出し、連携校に通知する。
- (2) 対象生徒の選出に至る過程及び「交流及び共同学習」の実施に当たってはカリキュラム・マネージャーが連絡調整にあたる。
- (3) 対象生徒の在籍校の教員は必要に応じてS Tまたは、引率等を行う。

5 その他

- (1) 年度末に両校合同による委員会を開催し、当該年度の成果や課題、次年度の実施方針を共有する。